

中四国地区 夏の独自勉強会



日時：2026年7月5日（日） 10:00～（受付開始 9:30～）
場所：福山大学社会連携推進センター（JR福山駅北口徒歩1分）

ETロボコン2026に参加するチーム関係者のみ参加できます。
人数制限はありませんが、会場キャパを超える場合は調整します。

時刻	内容	
9:30～10:00	受付	
10:00～10:10	オープニング	
10:10～11:00 (50分)	pythonで学ぶ制御の基礎 ETロボコン中四国地区 技術委員長 三輪 昭生 氏 pythonのpygameというライブラリを使って、物体を動かす簡単なアプリを作ります。 その動きを観察しながら、制御の基礎を学んでもらいます。 実習に参加される方は、python3の実行環境を構築し、pygame.matplotlibというライブラリをインストールしておいて下さい。 ※ python3の実行環境構築の注意点と、pygame.matplotlibライブラリのインストール方法については、別途アナウンスします。	
11:10～12:00 (50分)	5W1Hから見えるモデルの使い分け方（前編） ETロボコン中四国地区 運営副委員長 松原 美奈子 氏（株式会社BTM） システム開発における共通言語であるUMLやSysMLですが、それぞれの図の「本当の使いどころ」を理解していないと、ドキュメント作成そのものが目的化してしまいます。 本コンテンツでは、システム設計を ・「5W1H（Why / Who / What / When / How）」の思考フレームワーク ・「機能(+要求)・構造・振る舞い」のモデル分類にマッピング。 要求図、ユースケース図、クラス図、アクティビティ図、シーケンス図、ステートマシン図の6つの図を中心に、最適な使い分けと描き分けの基準を、前後編の2部構成で整理します。また分析モデルについても、軽く解説したいと思います。 ※ コンテンツ内では実際にモデルを描くワークを行います。 紙・筆記用具、または使い慣れたモデリングツールを事前にご用意の上、ご参加ください。	
12:00～13:30 (90分)	【昼食】昼食＋ライトニングトーク大会	
13:30～14:20 (50分)	5W1Hから見えるモデルの使い分け方（後編） ETロボコン中四国地区 運営副委員長 松原 美奈子 氏（株式会社BTM）	
14:30～15:20 (50分)	システムの品質を考える ETロボコン中四国地区 実行委員 川口 善之 氏 （株式会社ジェイテック） そのシステム、ちゃんとテストを行っていますか？ 思った通りに動いたから大丈夫と思っていませんか？ 本番環境で不具合が発生したとき、お決まりのように聞くあの言葉 「そんなことまで想定していなかったよ～」 そんなの言い訳であり、想定できなかったあなたのスキル不足です。 本コンテンツでは、システムのテストを実施するうえで考えるべきことや不具合が無いだけではなく、もう一歩上の品質について考えていきます。 また、実際のロボコンの中で見かけた、色々なチームの「想定外」についても紹介したいと思います。	【よろず相談】 ETロボコン中四国地区 審査委員長 松原 宏晃 氏 （リコーITソリューションズ株式会社） 運営副委員長 松原 美奈子 氏 （株式会社BTM） 事前申込制。参加登録時にお申し込みください。
15:30～16:50 (80分)	パッドケースから学ぶチーム開発 ETロボコン中四国地区 運営委員長 渡辺 博文 氏 （ヒロコン株式会社） 今年もETロボコンのシーズンが始まって3ヶ月が経ちました。 設計・開発が上手く進んでいるチームも、まだ何から手を付けて良いのか分からないチームもいるかと思います。 世間には様々なパッドケースが溢れているので、それを反面教師にして、残りの期間地区大会目指して頑張りましょう。 と、いうわけで、この80分間で少しでもチーム開発のノウハウみたいなものが皆さんと共有出来ればと思います。	
16:50～17:00	クロージング	
17:30～19:30 (目安)	懇親会（JR福山駅周辺）	